立命館東京キャンパス社会人リカレント講座
チェンジ・メイカー育成プログラム（第７期）のご案内

「企業人」から、「社会人」へ。

本プログラムは、PBL（Project-Based Learning）を通してこれからの社会に求められる「チェンジ・メイカー」へと成長することを目指すビジネスパーソンむけの講座です。日頃の職場を離れて背景が異なるメンバーとチームを組み、具体的な課題設定から解決策までを提案する実践的な２か月となります。PBL のフィールドは石川県七尾市を予定しており４～５名を１チームとして課題解決に取り組みます。

新しいリーダーを生み出す社会人 PBL と越境体験

課題を探る / チームで挑む / ゴールを目指す

リアルな社会課題と向き合う「越境学習」を人材育成に

主催：立命館東京キャンパス
共催：ジャパンラーニング株式会社
協力：石川県七尾市

立命館　東京　詳しくは 立命館　東京 で【検索】

4 質の高い教育をみんなに

8 働きがいも経済成長も

11 住み続けられるまちづくりを

プログラム概要

●日程　2025 年 9 月～ 11 月（全 9 回）

授業スケジュール	日　程	概　要		開催場所
事前ガイダンス	9月上旬	【プログラム概要案内】	プログラム概要説明	オンライン
セッション 1	9/19(金)14:00-18:00	【キックオフ】	①開講式 ②基礎講座 ③チームビルディング	立命館東京
セッション 2	9/25(木)19:00-21:30	【仮説検討】	①課題を深めるミニ講座 ②チーム活動	オンライン
セッション 3	10/3(金)-10/4(土)	【フィールドワーク】	①七尾市見学 ②現地関係者との対話会	七尾市
セッション 4	10/9(木)19:00-21:30	【課題具体化】	①FW 成果共有 ②チーム活動	オンライン
セッション 5	10/16(木)19:00-21:30	【解決策検証】	①現地事業者との対話 ②チーム活動	オンライン
セッション 6	10/23(木)19:00-21:30	【プレ発表】	①プレ発表 ②意見交換 ③チーム活動	オンライン
セッション 7	10/30(木)19:00-21:30	【検討と修正】	①チーム進捗報告 ②チーム活動	オンライン
セッション 8	11/7(金)	【成果報告会】	①最終プレゼンテーション ②提案先との対話会	七尾市
セッション 9	11/13(木)19:00-21:30	【ポストセッション】	①グループリフレクション ②総評 / クロージング	オンライン

※セッション 1（立命館東京キャンパス）、セッション 3、8（七尾市）は対面実施。
※その他の夜間セッション（19:00-21:30）は遠隔（ZOOM）開催。各セッションの概要は変更になる可能性があります。

●募集定員

・25 名　最少催行人数（16 名）

●受講料

・1 名につき 220,000 円（税込）

※現地および開催場所までの交通費は含みません。
※ひとつの企業様からの参加申込は最大 4 名でお願いいたします。

●申込締切

締切日：２０２５年 8 月 ２２ 日
（定員に達し次第、募集を締め切ります）

●申込方法

別紙の「受講申込書」を利用してください。
メールにて、受講申込書をお送りください。
立命館東京キャンパス「チェンジ・メイカー育成プログラム」事務局 宛
メール【 tokyo-kz@st.ritsumei.ac.jp 】
※受講申込書の項目をメール本文中にご記載の上お送り頂いても結構です。
※受講申込書を受信後、事務局から詳細についてご連絡いたします。

●参加推奨

・昇格、異動など、キャリアの転換期にある方
・新規事業開発やイノベーションに取り組んでいる方
・自分自身やキャリアに変化をつくりたい方　など
（職種、役職、年齢、性別などの参加条件はございません）

●問い合わせ先

〒100-0005　東京都千代田区丸の内 1-7-12　サピアタワー 8 階
立命館東京キャンパス 「チェンジ・メイカー育成プログラム」事務局
メール：tokyo-kz@st.ritsumei.ac.jp
TEL：03-5224-8188（月曜日～金曜日 9:00 ～ 17:30）

受講にあたっての Q&A

Q1 このプログラムで身につくスキルや能力は何ですか。
A　職場や社会で「チェンジ・メイカー」として活躍できる能力を育成します。未知の課題に対して、深く考え抜く力、コミュニケーション力、具体的なアウトプット力など、これらは今の時代に必要な課題の本質を見極めるスキルでもあります。

Q2 このプログラムは単位となる大学の正課の授業ですか。
A　社会人リカレント教育の特別プログラムとして開講しますので、大学の単位認定外の課外プログラムです。但し、すべての課題等を提出された方には大学から「プログラム修了証」を発行します。

Q3 授業スケジュールにあるセッション以外での学習時間はどれくらいありますか。
A　個人での講義（オンデマンド）受講、リサーチ活動、グループでの打合せなど、学びの時間が必要です。いずれも日常の仕事に影響のない範囲で取り組んでいただけると思います。

Q4「PBL」で取り組むテーマは指定されるのでしょうか。
A　大きなフレームで社会課題となるテーマを事前に提示します。受講者はテーマを選択することができるようにする予定です。1つのテーマで 4～ 5 名でチームをつくります。

Q5 講座の内容や受講生の写真などは HP や SNS 等に公開されますか。
A　個人情報については「学校法人立命館 プライバシーポリシー」に基づき適正に管理します。受講風景などの写真は受講生の許可を得て HP や SNS で発信する予定です。

Q6 首都圏以外の遠隔地からの受講も可能ですか。
A　セッション1（開講日）、セッション3（フィールドワーク）、セッション8（成果報告会）は対面での参加が必須です。その他のセッション（平日夜間）は遠隔地からのオンライン参加も可能です。

Q7 受講開始までに準備するものはありますか。
A　カメラ付き PC とインターネット回線は各自でご準備ください。また、メッセージプラットフォームの「Slack」を使いますので慣れておくと安心です。必須のテキストや教材はありませんが、受講開始日までに必要な情報（参考文献や資料）を提示します。

Q8 EQ 測定やキャリア面談には別途費用はかかりますか。
A　EQ テストとキャリア面談の費用は受講料に含まれます。
なお、EQ テストは WEB 回答、キャリア面談は遠隔（ZOOM）で実施予定です。

Q9 プログラム途中でキャンセルした場合はどうなりますか。
A　受講開始後の途中キャンセルについては返金の対象とはなりません。プログラムの進行上何か不安な点などありましたら事務局にご相談ください。

Q10 ひとつの企業・団体から複数名の申し込みはできますか。
A　２名から最大４名様まで申し込み可能です。

「正解のない時代」を突破する
次世代のリーダーを育てる

チェンジ・メイカー育成プログラムは、
企業人材を対象にした、社会課題解決型の研修プログラムです

「社会課題の現場への越境学習」プログラム　3つの要素

社会課題の現場

日々のビジネスの現場を離れ、社会課題に取り組む地方や NPO の現場に越境し社会課題に触れる中で、異なる価値観や発想、スピード感等の多様性を体感する。また、社会課題の現場での学びを通じて、新たな繋がりや変革を生み出す力を得る。

摩擦

摩擦は、現場の人々や他の受講者とのぶつかり合い、伴走者からの問いかけ、自分の中での葛藤によって生じ、この過程を経て内省することで自分自身の軸を明確にすることができる。また、摩擦を通じて、多様な人々との協働する力・周囲を巻き込み変化させる力を身に付けることができる。

多様なステークホルダー

良質な越境学習の場としての社会課題の現場には、課題に取り組むリーダーや伴走者が存在する。
これらの多様なステークホルダーの情熱に触れることで志が磨かれる。

ー越境学習による VUCA 時代の企業人材育成プログラムー

本プログラムは、経済産業省「未来の教室」実証事業の後継で、今回で７期目を迎えます。
東京での事前ワーク・セッションと現地でのフィールドワークを通して実際の企業や地域の課題を探り、限られた期間の中で、合意形成と解決策の提案へとつなげる実践的な PBL(*2) を実施します。受講生たちはチームを組み、異なる価値観の仲間との議論の整理・融合を通して、一人ひとりが「チェンジ・メイカー」になることを目指す実践型の人材育成プログラムです。
プログラムのコンセプトとして「越境学習（*1)」に着目。その重要な要素として、「社会課題の現場」「摩擦」「多様なステークホルダー」の３点を整理しています。

(*1) 越境学習
「越境学習」とは、所属する組織の枠を越え（“越境”し)、自分にとってのホームとアウェイを行き来することによって学ぶこと。
イノベーション創出やキャリア自律に繋がることが期待されている。

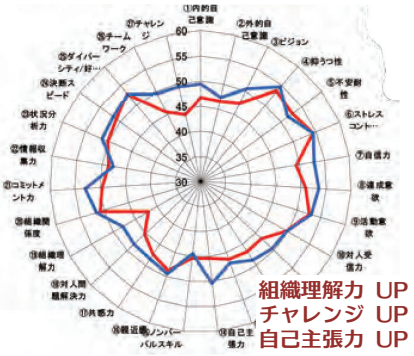
(*2)PBL
PBL（Project-Based Learning）とは、課題解決型学習。
知識教授のための受身の学習ではなく、自ら課題の発見・設定から、解決を通じて学ぶ学習法。

EQ 測定、リフレクション、キャリア面談を併用した振り返り

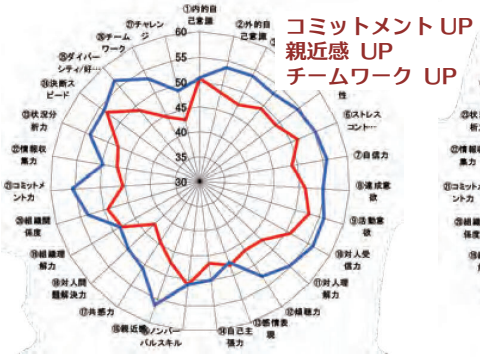
プログラム前後の EQ 測定と、セッション毎の対話型リフレクションで、プログラムを通して一人ひとりの行動変化と成果を可視化します。
希望者には、キャリアコンサルタントによる面談も実施します。

受講前　受講後

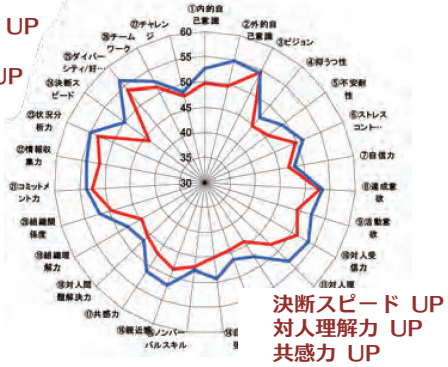
４期　群馬県上野村受講生スコア



５期　群馬県嬬恋村受講生スコア



６期　群馬県片品村受講生スコア



今回のフィールドは、石川県七尾市

七尾市は、石川県の能登半島中央部に位置し、東は富山湾に面し、西にはなだらかな丘陵が広がります。
夏は海風が心地よく、冬は北陸特有のしっとりとした気候ですが、比較的穏やかな環境が特徴です。金沢駅からは特急「能登かがり火」で約1時間。関西や関東方面からもアクセスが可能です。七尾市は、古くから港町として栄え、和倉温泉や能登食材を活かしたグルメ、歴史的な文化財が多く残る地域です。

石川県七尾市

人口:　46,289名
※2025年2月時点
アクセス:　金沢駅〜七尾駅
(JR特急能登かがり火で約1時間)

七尾市長　あいさつ

石川県七尾市は、開湯1200年の歴史を誇る和倉温泉をはじめ、能登の里山里海の豊かな自然があり、そこから育まれた食、歴史や文化、祭りに携わる人々の繋がりが、魅力であり他にはない強みの一つであります。
しかしながら、令和6年能登半島地震で甚大な被害を受けた今、被災者の生活再建のほか、被災地域の復旧・復興、地域経済の再建に向けた取り組みが最優先課題であります。
市民と行政が知恵と力を出し合い、また、私たちのまちを応援してくれる多くの方々の力をお借りしながら、関係人口の創出や、拡大に努めることにより、創造的復興を遂げ、持続可能で将来に向けて夢や希望を持てる新しいまちづくりに取り組みます。
本プログラムにご参加の皆様がチェンジ・メイカーとしてスキルアップされるとともに、今回の研修地である七尾市とのご縁が、能登の魅力の一つである「人の繋がり」となり、能登地域全体の復興の力となることを心から期待しています。

七尾市長 茶谷義隆

過去の参加者の声

全体講義や事前学習を通じて、チームで問題解決に取り組みます。多様な背景をもつメンバーと議論を重ね、一体感を持って進める点が魅力です。自分とチーム両方の成長を実感でき、貴重な経験と仲間を得られる内容でした。(金融・男性)

PBL を通じて、知識としての概念を体感できました。合意形成の難しさや手法を深く考える機会となり、今後のキャリアにも役立つ学びでした。異業種の方との協働も刺激的で、視野が広がる経験になりました。(流通小売・女性)

社内の常識が世間の非常識になりがちな中で、その枠を越えて学ぶことは、自分の能力を確認する場となり、次のステップへ成長する貴重な機会となりました。また、今後の仕事や生き方について改めて考えるきっかけにもなりました。(専門サービス業・女性)

社外のメンバーや地域の方とひとつのものを作り上げるプロセスが本当に有意義でした。多くの村民の方と交流し、本音のフィードバックを頂ける、村との密な協働がこのプログラムの最大の魅力だと感じました。(コンサルティング・女性)

大学主催のプログラムだからこそ、自治体や村民の方が信頼して何でも話してくださる雰囲気が作られていると感じました。
また、大学教授のアカデミックな観点の講義を伺えるのも非常に魅力的でした。(金融・男性)

研修のその先へ（一過性で終わらせないため）

プログラム終了後も、運営、修了生、地域側それぞれが使命感を持ち、現場実装に向けた活動に取り組んでいます。

●第４期　群馬県上野村

プログラム後、参加企業が自治体と連携協定を締結。同社社員が上野村へ出向しています。
参加メンバーが中心となり、都内での上野村物産展や生物多様性研修@上野村を開催しました。

●第５期　群馬県嬬恋村

提案アイデア実現のため、修了生が、村長と役場メンバーを自社施設に招待。有志による提案内容の実証実験タスクチームが、コーン茶の製品開発をはじめ、さまざまな提案活動を実施しています。

●第６期　群馬県片品村

修了生は、片品村に対して観光業を中心とした社会課題の解決に向けた提案を実施しました。
具体的な提案内容を通じて、地域社会への貢献を今も継続しています。